土師地区・土居二区 とへとへ

1/14㊋

訪れた来訪神に 水を掛けるおもてなし

小正月の前日となる14日、土師地区と土居二区で“とへとへ”が行われました。とへとへ(戸恵戸恵)は、五穀豊穣や家内安全を願う行事。来訪神に扮した里人が「とへとへ」と言いながら家々を巡り、その折に水を掛けられます。

土師地区では、寒い中、若者たちが水を浴び、今年も良い年となるように祈願していました。

▲「とても寒かったけど、訪問先の人の温かさに触れることができた」と、今年初めて参加した若者。

弥栄区 どんど焼き・廃品回収

1/12㊐

立ち昇る炎に 一年の無病息災を願って

弥栄区では毎年恒例となっている“どんど焼き”が行われました。参加者は、各家々から持ち寄ったしめ飾りなどの正月飾りを焼き、「今年も良い年でありますように！」と願いを込めて、立ち昇る炎を見つめていました。

また、この日は同区の子ども会による廃品回収も行われました。

▲終了後にはおいしいぜんざいを楽しみました。

けいせんびと

〜話題の人・団体〜

6年間にわたり地元の児童遊園の整備を続ける

公園に行くのが毎日楽しみ。私の方が公園に感謝したい。

「お、向野さん、やりよるね」

平山一区にある児童遊園。通りがかった近所の人が、草取りをしている女性に笑顔で声をかける。

「今日もやりようばい」

白い歯を見せて応える向野芳子さんが、今回の〝けいせんびと〟。6年前からほぼ毎日、欠かさずこの児童遊園の整備を行っている。

65歳で仕事を辞め、畑仕事や運動を続けている中で、偶然近所の児童遊園に草が茂っているのが目に止まる。「少し綺麗にしよう」と、草取りを始めた所から、向野さんの日課は始まった。

雨の日などを除き、午前と午後の毎日2回、児童遊園の整備に訪れる。草取りやゴミ拾いはもちろん木の剪定、リサイクルボックスの整理などを一人で行っている。夏の時期は早朝5時から行うこともあるそうだ。

「よく周囲から『毎日やって大変だね』と言われますが、私は楽しくてやっているのでちっとも苦じゃありません。毎日児童遊園に行くのが楽しみで、私の方が児童遊園に感謝したいぐらい」と目を輝かせながら語る向野さん。児童遊園の整備をしながら、近所の人との交流も楽しむ。

3月で74歳になる向野さんの元気の秘訣は、「太陽をしっかり浴びて、よく眠ること。そして、くよくよ悩まず楽しくやること」。

そんな向野さんの人柄と綺麗な公園に惹かれ、今日も児童遊園には近所の人々が笑顔で訪れる。

向野 芳子さん（73歳・平山一）
Kono Yoshiko